

# 地質標本館来館者アンケート結果概報 (2016 年度)

森尻理恵<sup>1)</sup>・谷島清一<sup>1)</sup>・朝川暢子<sup>1)</sup>・下川浩一<sup>1)</sup>・佐藤隆司<sup>1)</sup>・高橋 誠<sup>1)</sup>・酒井 彰<sup>1)</sup>・利光誠一<sup>2)</sup>・菅家亜希子<sup>3)</sup>・中山 淳<sup>1)</sup>・常木俊宏<sup>1)</sup>・小賀野 功<sup>4)</sup>・川鈴木 宏<sup>1)</sup>

## 1. はじめに

地質標本館では、個人のお客様に、また、団体のお客様の場合にはその代表の方に記帳していただき、来館者数を数えています。この際に、来館者の声をお聞きするために、2005年4月からアンケートへのご回答をお願いします(吉田, 2006)。アンケートは匿名で、いくつかの質問にお答えいただく部分と自由にお書きいただく部分があります。このアンケートを通じて多くの貴重なご意見をお寄せいただいたことに厚くお礼申し上げます。

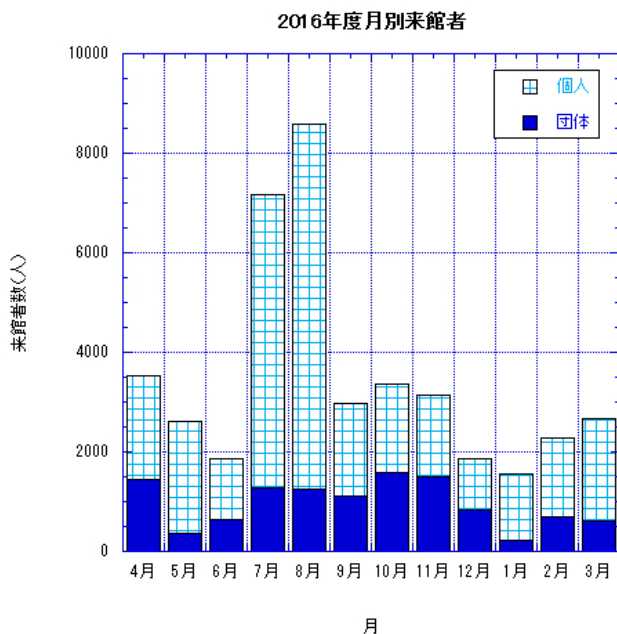
2015年度までのアンケートの取りまとめ結果は地質情報基盤センター(2016a, 2016b)として公表されました。また、一般向けの資料として、森尻ほか(2015, 2016)を報告しました。本稿では引き続き、2016年度分のデータとご意見・ご要望への対応について報告します。

アンケート結果を示す前に、来館者数の月別変化を第1

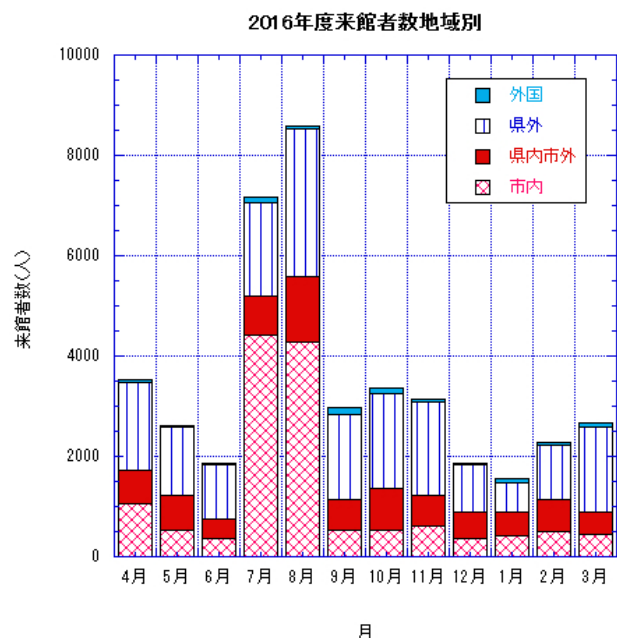
図～第3図に示します。第1図は個人/団体別、第2図は地域別、第3図は職域別になっています。来館者は例年通り、7～8月の夏休み期間が多く、しかもこの期間の来館者はつくば市内からが多くなっています。職域別では家族連れ、小学生が多くなっています。夏休みは市内のご家族連れの来館が多いことがわかります。地質標本館はつくば市で夏休み中に開催される「つくばちびっこ博士」のスタンプラリーの見学施設に指定されているため、家族連れの来館が増えたと考えられます。

## 2. アンケートの回答より

アンケートにお答えいただく内容が2016年7月から大きく変わりました。従来のアンケートでお聞きしていたものは第1表に、2016年7月以降のものは第2表に示しています(表現を簡素に改めています)。従来のアンケー



第1図 2016年度の来館者総数(受付調査)

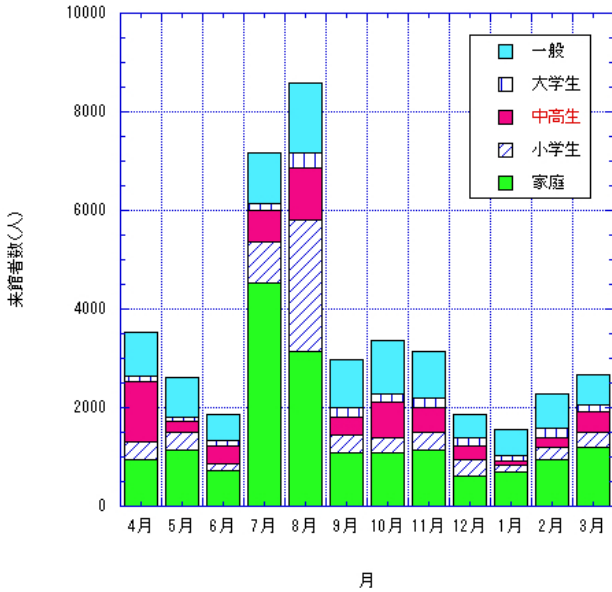


第2図 2016年度の来館者数地域別(受付調査)

1) 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター  
 2) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門 (前・地質標本館長)  
 3) 産総研 イノベーション推進本部知的財産・標準化推進部 (前・地質調査総合センター地質情報基盤センター)  
 4) 産総研 中部センター中部センター研究業務推進部 (前・地質調査総合センター地質情報基盤センター)

キーワード: 地質標本館, 来館者, アンケート, 2016年度

職域別来館者数2016



第3図 2016年度の来館者数職域別（受付調査）

トは5～7項目でしたが、新しいアンケートでは項目数が増加しています。具体的には、今まで自由記述の中で多くコメントいただいていた展示物や館内施設等に関する事項を質問として追加しました。また、配布の仕方も、今まで団体のお客様には代表の方だけにアンケート用紙をお渡ししていましたが、高校生以上の場合、一人ずつ配布させていただくように変更しました。

回収されたアンケート用紙は谷島、朝川により日常的に整理されています。2016年度分のアンケートには、4,494人の方にお答えいただきました。アンケート配布方法変更の前と後では、それぞれ、602人、3,892人、総来館者数に対する回答者の割合は約6%、約12%でした。変更にとともに、アンケートに答えていただいた方の割合が約2倍に増えました。団体見学で代表者以外の方のご意見もいただくようにした効果です。アンケート回答者の内訳を、配布方法変更前と後に分けて、第4図には世代別、第5図には地域別の割合を示します。世代別では配布方法の変更後に18歳以下の回答者に占める割合が増加しました。これは新たにお答えいただくことになった団体見学の高校生であると考えられます。地域別で、県外の方の割合が多いのは、初めてご来館いただいた方が多いせいかもしれません。市内には、毎年ちびっこ博士のスタンプラリーに参加するようになりピーターの方が多く、以前答えたから今回は答えないという方もいらっしゃるかもしれません。

以下にそれぞれの質問事項の取りまとめ結果を示します。

第1表 2016年6月まで配布していたアンケートの質問事項

1. あなたの年齢・性別は？
2. どこから来ましたか？（つくば市内／茨城県内つくば市外／茨城県外）
3. 地質標本館に来た目的は？（常設展／特別展／その他）
4. （特別展の期間には）特別展を何で知りましたか？（地質標本館ホームページ／掲示ポスター／その他）
5. 特別展をご覧になってどのように思いましたか？（おもしろかった／おもしろくなかった）
6. 今後、どのような内容の展示を見たいですか？
7. ご意見・ご要望を自由にお書き下さい。

第2表 2016年7月から配布しているアンケートの質問事項

1. 本日も見学頂きました地質標本館は、いかがでしたか？ ①満足／②やや満足／③やや不満足／④不満足
2. またご来館いただけるでしょうか？ ①ぜひ来たい／②できれば来たい／③来るかもしれない／④もう来ない
3. お客様ご自身について 「性別」①男／②女 「年齢」①18歳以下／②19～29歳／③30歳代／④40歳代／⑤50歳代／⑥60歳代以上 「お住まい」①つくば市内／②茨城県内（つくば市以外）／③茨城県外
4. 今回のご来館のきっかけとなるもの（複数可） ①地質標本館公式ウェブサイト／②インターネット（ブログ、SNS等）／③掲示ポスター・チラシ／④新聞・雑誌・テレビ／⑤知人の紹介／⑥その他
5. ご興味を持った展示テーマ（複数可） ①鉱物／②化石／③岩石／④地震／⑤火山、温泉／⑥資源、環境／⑦地質学一般／⑧その他
6. 展示物について（各々4段階で回答） (1) 展示の仕方や表示方法（パネル、ラベル等の説明）はわかりやすかったですか。 (2) 展示機器の使い勝手はいかがでしたか。 ①満足／②やや満足／③やや不満足／④不満足
7. 建物やサービスについて（各々4段階で回答） (1) 受付の対応はいかがでしたか。 (2) 案内表示（順路、トイレやエレベーター等）はわかりやすかったですか。 (3) 館内の明るさはいかがでしたか。 (4) 館内の空調の温度設定はいかがでしたか。 (5) 展示物、展示室、トイレ、洗面所及び通路の清掃は行き届いていましたか。 ①満足／②やや満足／③やや不満足／④不満足
8. 利用した解説サービスについて（各々4段階で回答） (1) 説明員の解説 (2) QRコード (3) 標本館クイズ ①満足／②やや満足／③やや不満足／④不満足
9. 当館へのご希望、ご意見があればお聞かせください。（例）特別展についての感想・ご要望、ミュージアムグッズ、イベントの内容等

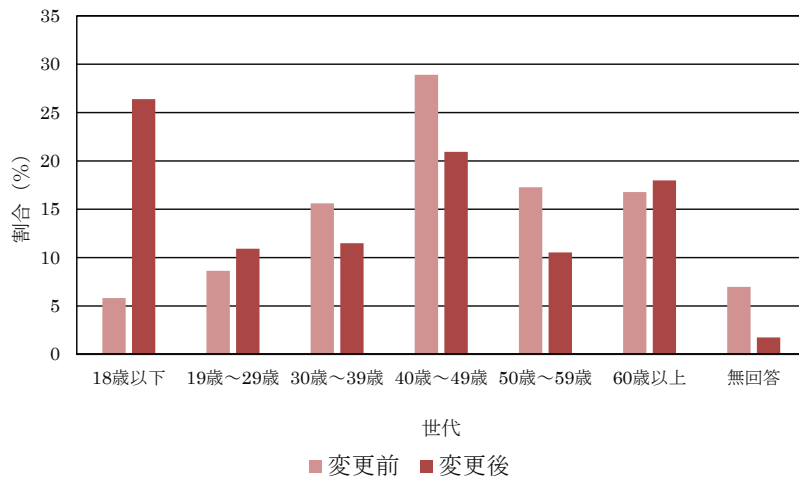
## 2.1 本日も見学頂きました地質標本館は、いかがでしたか？（新）

新しいアンケートでは、多くのお客様がアンケートへご協力いただきやすいように、質問の仕方を変えています。それが、初めの2つの質問で、お客様について伺いする前に、ズバリ感想を伺っています。4段階でお答えいただいています。第6図に結果を示します。

## 2.2 またご来館いただけるでしょうか？（新）

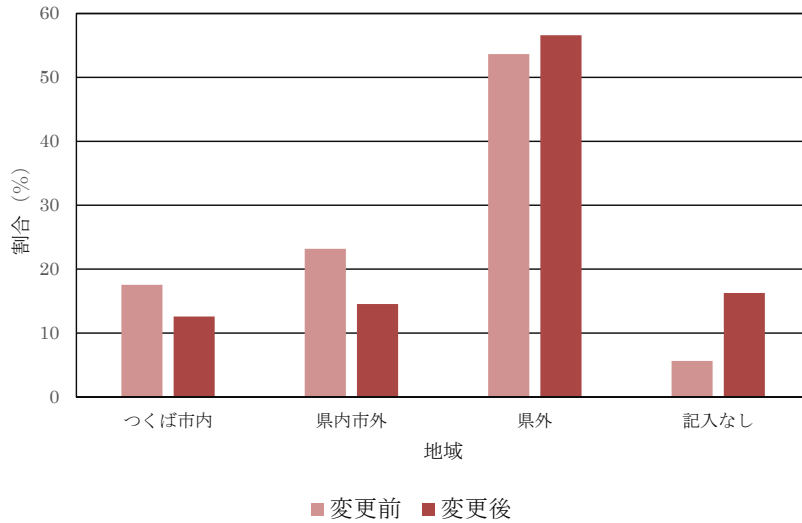
新しいアンケートではさらに、またご来館いただけるでしょうか、と伺っています。これも4段階でお答えいただいています。第7図に結果を示します。時間のない

回答者年齢（割合）



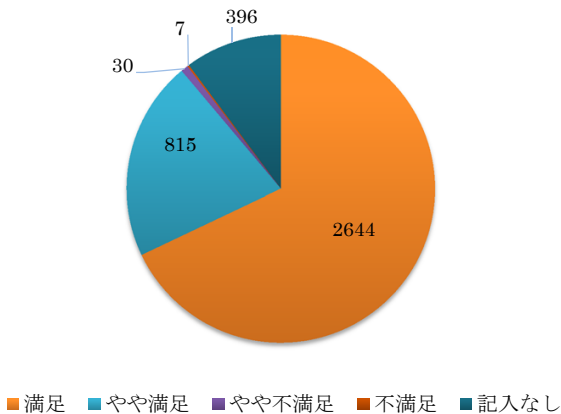
第4図 2016年度回答者の割合（世代別） 世代別回答者数／期間総回答数

回答者地域別（割合）



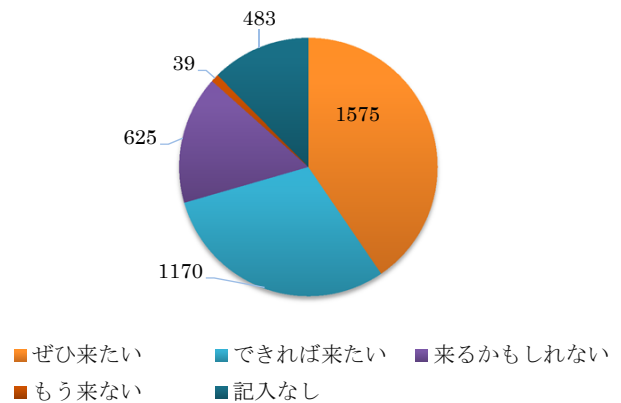
第5図 2016年度回答者の割合（地域別） 地域別回答者数／期間総回答数

満足度



第6図 2016年7月からのアンケートによる満足度

また来ていただけますか？



第7図 2016年7月からのアンケートによるリピーター期待度

お客様でも、この2問はお答えくださる方が増えました。この後は従来のアンケート同様いろいろお答えいただいています。

**2.3 地質標本館に来た目的は？（旧）**

これは常設展示，特別展示，その他でお聞きしています。特別展開催時には，特別展を見に来たという方が多かったです。2016年度は臨時の特別展も複数開催されました（第3表）ので，多くの方の興味を引いたようでした。

**2.4 特別展示は何で知りましたか？（旧）**

**今回のご来館のきっかけとなったものは？（新）**

特別展の広告は，地質標本館ウェブサイトや産総研公式ツイッターで行っています。ポスターは地質標本館の大型プリンターでプリントして，つくばエキスポセンターなどに掲示していただいています。また，近隣の学校などにはチラシをお配りしています。回答を見ると，ポスターや掲示を見て地質標本館へ来てくださる方々の割合は高いと言えます（第8図）。7月以降のアンケートでは，もう少し細分しました。その結果，SNSやブログを見て来たという答えが一番多くなりました（第9図）。

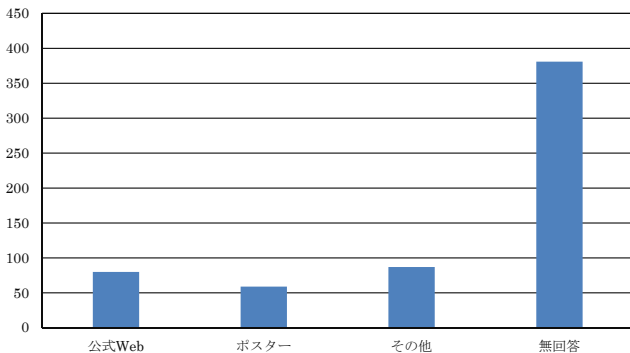
**2.5 特別展をご覧になってどのように思いましたか？（旧）**

これは単純に，面白かったか面白くなかったかでお聞き

第3表 2016年度の特別展一覧

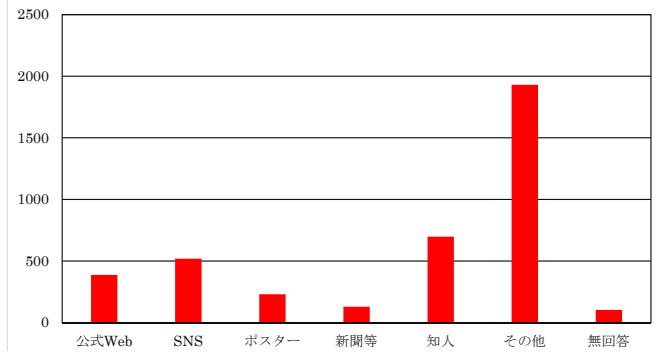
展示時期	特別展タイトル
3月29日－4月17日	常設展
4月19日－5月22日	春展 第7回「惑星地球フォトコンテスト」入選作展示会『地球写真の世界』
5月24日－7月3日	常設展
7月5日－7月18日	臨時展示 県の石
7月20日－10月2日	夏展 あの山この山どんな山－「山の日」制定記念 日本の山の地質－
10月4日－11月6日	日本ジオパーク認定記念臨時展示「筑波山地域ジオパークを学ぼう！」
11月8日－1月15日	「首都をささえる大地のしくみ」－地質情報展2016とうきょう－再展示
1月17日－2月26日	新春特別展 ふるさとの新たな主役「県の石」
2月28日－3月26日	GSJのピカイチ研究－2016年のプレスリリース，主な研究成果より－
3月28日－4月3日	常設展

何を見て来ましたか（総数602）



第8図 2016年度4-6月の来館者が見た宣伝媒体

何を見て来ましたか（総数3892）



第9図 2016年度7月以降の来館者が見た宣伝媒体

しています。概ね、面白かったと答えていただきました。

## 2.6 今後どのような特別展を見たいですか？(旧) ご興味を持った展示テーマ(複数可)(新)

4月から7月半ばまでのアンケートでは、自由回答となっていて、複数回答をいただいている場合もあります。キーワードで集約した結果を第10図に示します。GSJ技術資料集にならって分類をしていますが、鉱物と岩石、化石と恐竜は混同しているものも見られます。

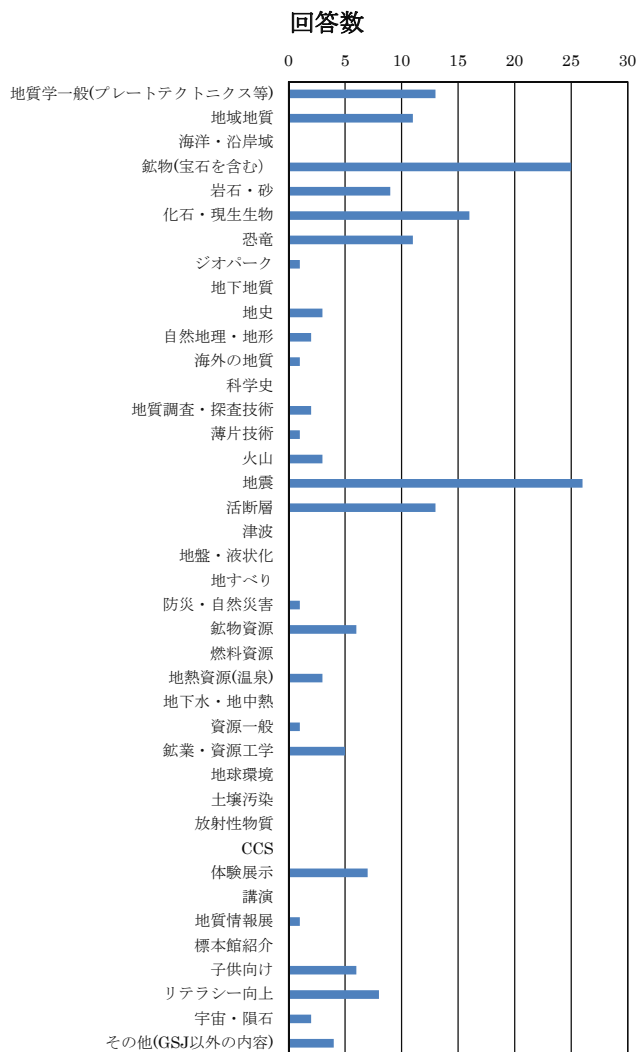
見たい展示としては、鉱物、恐竜を抜いて地震が一番多かったです。ちなみに2015年は火山でした。大きな災害があると人々の関心が高まるのだと感じました。

7月以降のアンケートでは、どのようなテーマに興味を持ったか複数回答方式でお聞きしています。項目は第2表に示しています。結果は第11図に示しています。

大体の傾向を見ると、最も回答数が多かったものは、宝石・鉱物でした。次いで化石となっています。従来のアンケートでは「見たいもの」をお聞きしていましたが、新しいアンケートでは「興味を持った展示」をお聞きしています。そのため、展示されている地味な恐竜(科学的な価値とは別に)よりも、鉱物に興味を持った方が多くなったと解釈しています。

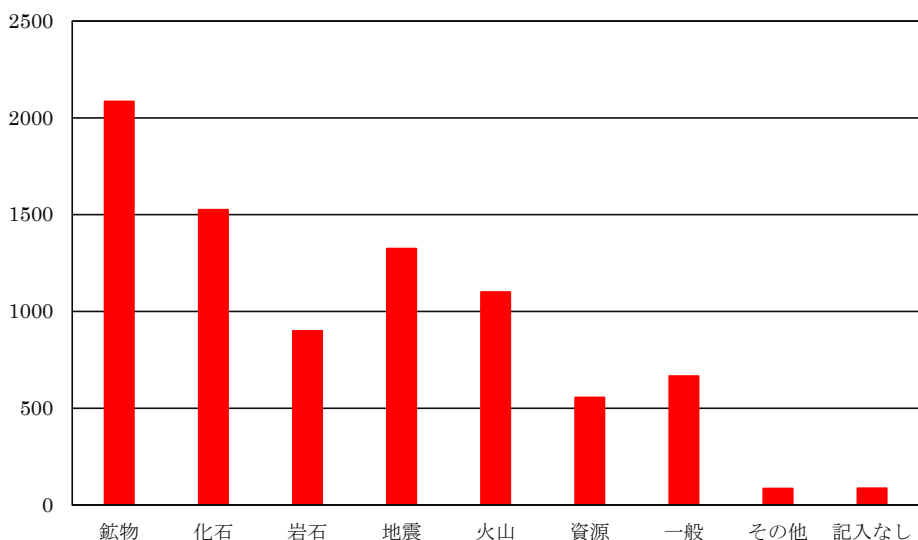
## 2.7 展示物について(新)

4月から7月半ばまでのアンケートでは、ご意見ご要望欄にお書きいただいていた内容のうち、展示物について、建物について、解説サービスについての3項目は、7月以



第10図 今後どのような特別展が見たいですか(キーワードで集約, 複数回答あり)  
縦軸はキーワード, 横軸は回答数。

## 興味を持った分野



第11図 興味を持った展示分野(2016年7月以降)

降のアンケートでは、選択してお答えいただくようにしました。

展示物については（1）展示の仕方や表示方法（パネル、ラベル等の説明）と（2）展示機器の使い勝手の2項目について、①満足／②やや満足／③やや不満足／④不満足の4段階でお答えいただいています。集計結果は第12図に示しています。概ね、ご満足いただいています。

### 2.8 建物やサービスについて（新）

建物やサービスについては、受付の対応、案内表示、明るさ、空調、清掃について、①満足／②やや満足／③やや不満足／④不満足の4段階でお聞きしています。集計結果は第13図に示しています。概ね、ご満足いただいています。

### 2.9 利用した解説サービスについて（新）

利用した解説サービスについて（1）説明員の解説、（2）QRコード、（3）標本館クイズの3種類のサービスについて、①満足／②やや満足／③やや不満足／④不満足の4段階でお聞きしています。集計結果は第14図に示しています。この質問について、回答総数は3,892件、これらのサービスを利用したという回答は2,133件、利用しなかったという回答は1,759件となっています（第15図）。解説サービスは重点的に取り組んできた課題でもありますので、満足という回答を多くいただき、安堵しています。

### 2.10 ご意見、ご要望（新、旧）

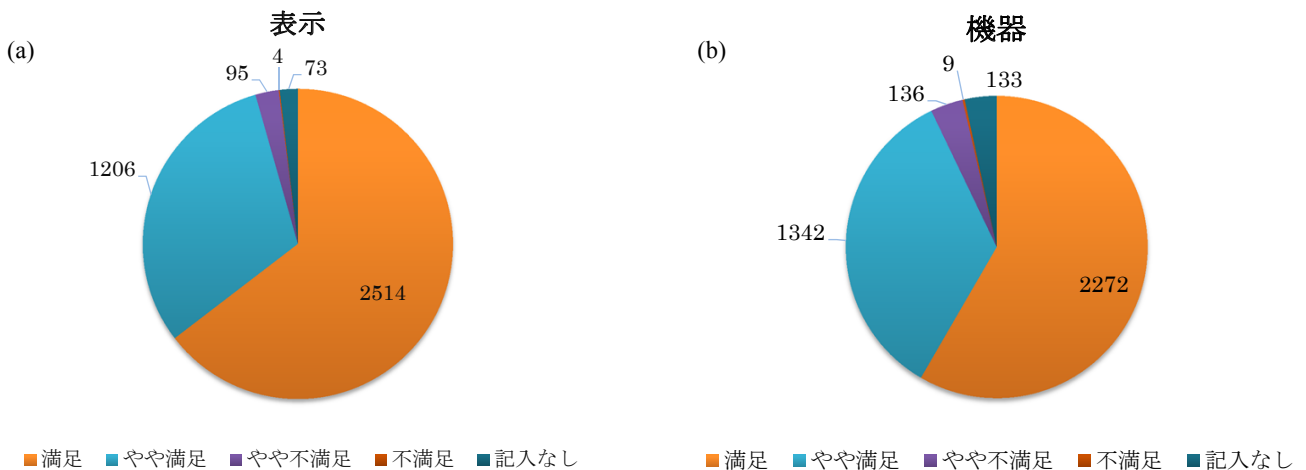
最後に自由記述で、ご意見、ご要望を伺っています。様々な御要望をお寄せいただきありがとうございます。地

質標本館に課せられた役割と照らし合わせて今後の参考にさせていただきます。

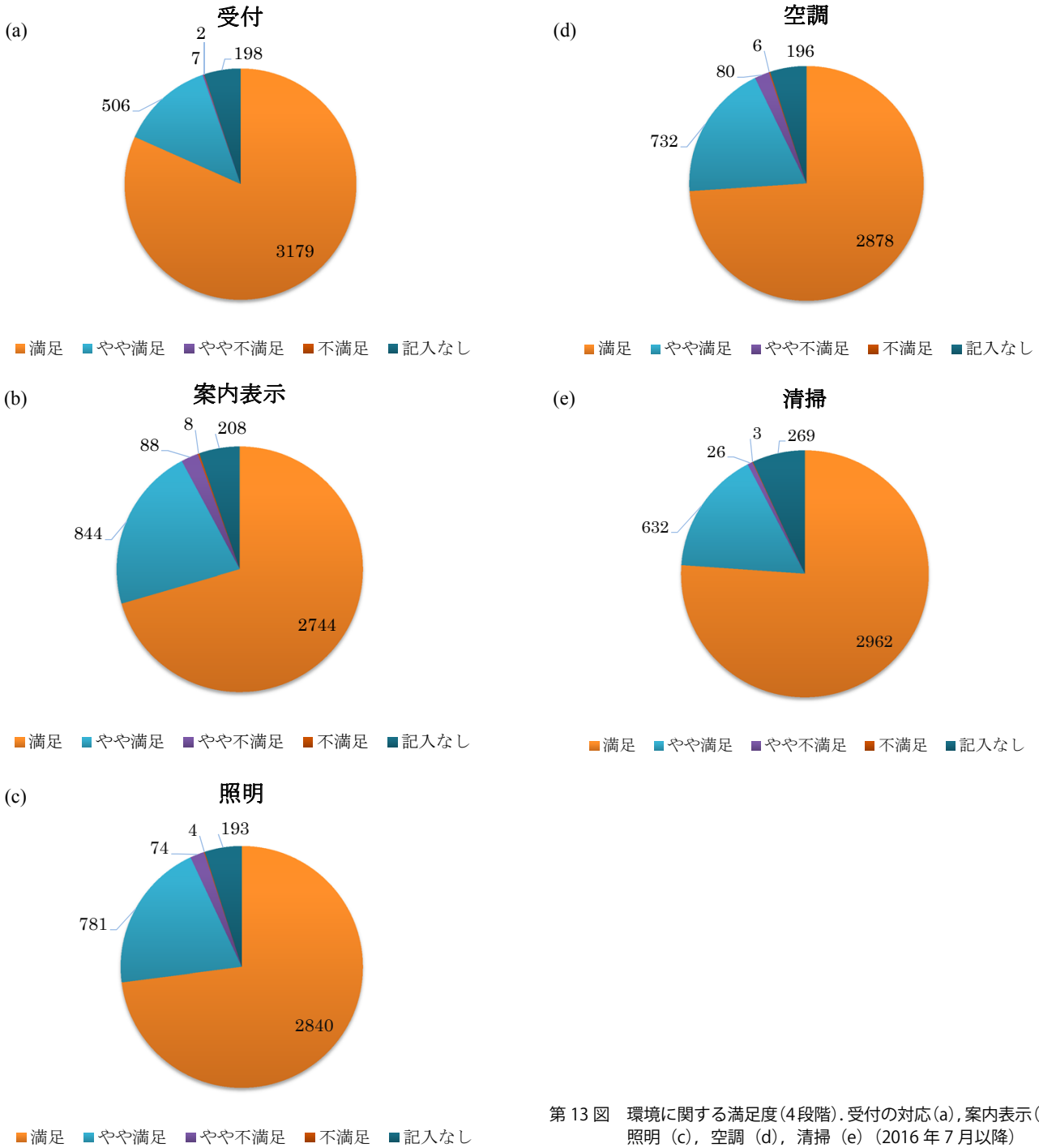
その中で、子供向けの展示を増やしてほしいというご意見を多く頂戴しています。「子供向け」の子供がどのくらいの年齢をターゲットにすれば良いのかは、多くの博物館が頭を悩ましているところだと思います。地質標本館は研究成果の普及も大きな目的の一つにしておりますので専門家の来館者も多く、アミューズメント施設を目指しているわけではありません。このため今のところ、小学校高学年以上であれば一通り楽しめるレベルを心がけています。

小さなお子さんについては保護者の方のサポートをぜひお願いしたいと思います。クイズ等を利用して一緒に楽しんでいただければ幸いです。また、原則として展示標本は触ってはいけないものですが、中には触れても良いものもあります。そこで触れられる標本には「さわっていいよ」という札をつけています（第16図）。この札のある標本にはぜひ触れてみてください。さらに、光源付きのルーペを第1展示室のフズリナ石灰岩の標本に付けましたので、自由に見ただけいただけます。あるいは、受付前のテーブルに液状化を学べるボトルであるエキジョッカーとエッキーを置いてありますので、自由に実験をしていただけるようになっています。

また、駐車場が少ない、交通が不便、といったご要望も数多くありました。これらは、地質標本館だけではどうにもならない部分もありますが、施設関連は、関係部署とも連携して少しずつ改善されていくよう努力しているところです。例えばアンケートの声を受けて、休憩コーナーを設け、飲み物の自動販売機を設置いたしました。また、産総研の制約の範囲内で新しいオリジナルグッズを考案し、有



第12図 表示(a)と展示機器(b)の満足度(4段階)(2016年7月以降)



第13図 環境に関する満足度(4段階). 受付の対応(a), 案内表示(b), 照明(c), 空調(d), 清掃(e) (2016年7月以降)

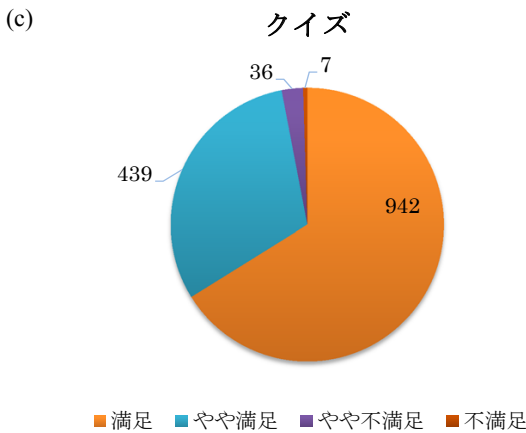
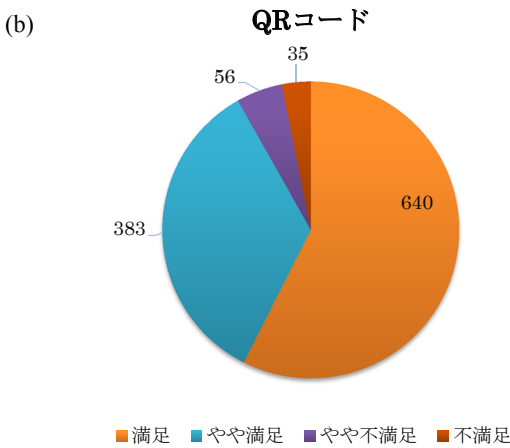
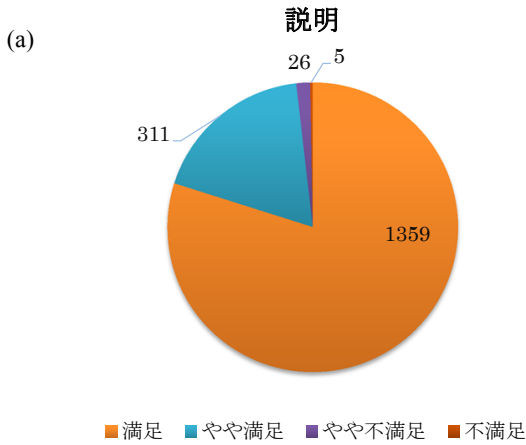
料頒布を行っています(第17図)。実物の標本を売ってほしいという声もアンケートに書かれることがあります。地質標本館では標本の販売はしていません。

### 3. 最後に

地質調査総合センターでは「地球をよく知り、地球と共生する」を理念として研究活動を行っています。その中で地質標本館は、一般への窓口として、広報・普及活動の一

端を担っています。なお、地質標本館の膨大な数にのぼる標本は地質情報基盤センターのアーカイブ室が管理しています。標本は研究試料でもあり、地質標本館は、一般の方々がイメージされている展示館とは性格が異なる組織となっています。ただ、本物を見ていただきたい、地球のことを知っていただきたい、という地質調査総合センターからのメッセージを込めた展示を目指しているつもりです。

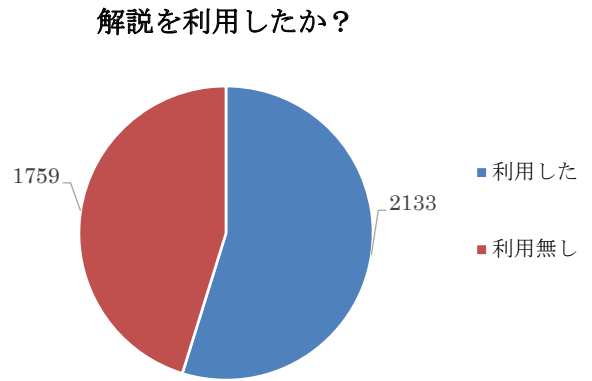
ごくごく一部ですが標本や模型、解説を通じて地球科学に触れる場として地質標本館が機能していけるよう、限ら



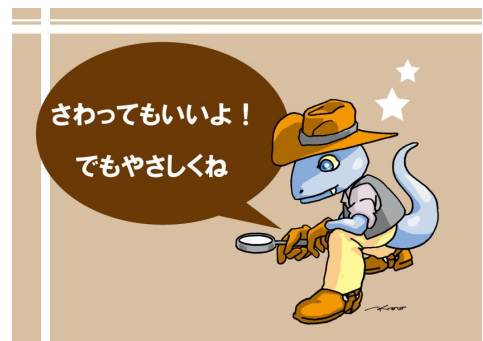
第14図 解説サービスに関する満足度(4段階)。説明員による解説案内 (a), QRコードを使った解説表示 (b), 展示を見ながら解答するクイズ (c) (2016年7月以降)

れた環境の中でとなりますが、今後とも努力してまいります。つくばは多くの研究所が集まっている都市ですから、いろいろな場所を見学できる利点を生かして、ぜひ地質にも興味を持っていただき、地質標本館に足を運んでいただきたいと思います。

アンケートは引き続き行ってまいりますので、御来館の折にはどうぞご協力をお願いいたします。



第15図 解説サービスを利用したか



第16図 触れる標本であることを知らせるマーク (キャラクターデザイン河村幸男, レイアウト菅家亜希子)



第17図 ミュージアムグッズを紹介したポスター (デザイン都井美穂)



## 文 献

- 吉田朋弘 (2006) 平成 17 年度地質標本館来館者アンケート報告. 地質ニュース, 620, 61-63.
- 森尻理恵・吉田清香・朝川暢子・下川浩一・奥山康子・佐藤隆司・高橋 誠・酒井 彰・須藤 茂・利光誠一 (2015) 地質標本館来館者アンケート結果概報 (2007-2014). GSJ 地質ニュース, 4, 346-352.
- 森尻理恵・朝川暢子・下川浩一・奥山康子・佐藤隆司・高橋 誠・酒井 彰・須藤 茂・利光誠一・菅家亜希子・吉田清香・中山 淳・常木俊宏・小賀野 功 (2016) 地質標本館来館者アンケート結果概報 (2015 年度). GSJ 地質ニュース, 5, 377-381.

## 参照ウェブサイト

- 地質情報基盤センター (2016a) 地質標本館の来場者アンケート分析 (2007 年～2015 年度夏展まで). GSJ 技術資料集 No.5, [https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_05\\_2016.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_05_2016.pdf) (2017 年 4 月 19 日確認)
- 地質情報基盤センター (2016b) 地質標本館の来場者アンケート分析 (2015 年度後半: 秋～冬の特別展). GSJ 技術資料集 No.6, [https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ\\_ComRep\\_06\\_2016.pdf](https://www.gsj.jp/data/comprep/GSJ_ComRep_06_2016.pdf) (2017 年 4 月 19 日確認)

---

MORIJIRI Rie, YAJIMA Seiichi, ASAKAWA Nobuko, SHIMOKAWA Koichi, SATOH Takashi, TAKAHASHI Makoto, SAKAI Akira, TOSHIMITSU Seiichi, KANKE Akiko, NAKAYAMA Atsushi, TSUNEKI Toshihiro, OGANO Isao and KAWASUZUKI Hiroshi (2017) Results of the questionnaires for the visitors of the Geological Museum in FY2016.

---

(受付: 2017 年 5 月 23 日)